

学習課題(中学校1年生) ③



【数学】

<学習内容>

数直線を基にして、負の数が入った加法の計算の仕方について考えてみよう。
～マイナスの数をたすことはできるだろうか～

<取り組み方>

- (1) 数直線を使って $(+3) + (+4)$ や $(-2) + (-6)$ の計算の仕方を考えよう。
- (2) 数直線を使って $(+2) + (-6)$ や $(-2) + (+7)$ の計算の仕方を考えよう。
- (3) (1)、(2)の計算前の式と計算した結果を比べてみて、気付いたことを「取組シート」やノートに書いてみよう。(家の人に説明してもよい。)
- (4) 正の数、負の数の2数の和について、計算の仕方を符号と絶対値に注目して「取組シート」やノートにまとめてみよう。

<学習のヒント>

- (1) 教科書P22の例1を参考に、符号（「^{プラス}+」や「^{マイナス}-」）や絶対値がどんなことを表しているか考えてみましょう。数直線の向きについては、P17の11~12行目に書かれています。
- (2) 教科書P22の例2を参考に、(1)と同じように考えてみましょう。
- (3) (1)と(2)のそれぞれについて、計算前の式と計算した結果の符号と絶対値に注目して、どのような計算をしているか考えてみましょう。例えば、計算前の式の符号について、(1)は同符号、(2)は異符号になっていますね。
- (4) (3)で気付いたことを教科書P24の「重要」を参考に、まとめてみましょう。